

# 震災タクシー

作・演出○くらもちひろゆき○畠澤聖悟○工藤千夏

出演○

男1（劇作家・くらもちひろゆき）／くらもちひろゆき

男2（ＪＡ職員・佐藤清）／佐藤清

男3（営業マン・東海林）／東海林浩英

男4（タクシー運転手・加藤）／加藤隆

女1（郵便局職員・三上みか）／三上晴佳

女2（少女・音喜多幸子）／音喜多咲子

男5（車掌、レンタカー屋、タクシー運転手、メロス）／畠澤聖悟

りますので、電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。  
次の停車駅は、亘理、亘理です。

しばらくの走行音。客はぼーっとしたり、居眠りしたり、携帯をいじつたりしている。

車内アナウンス 本日はご乗車いただきありがとうございます。常磐線各駅停車いわき行きです。お客様にお願い申し上げます。携帯電話は、他のお客様のご迷惑になりますので、電源をお切りくださいますようお願い申し上げます。次の停車駅は、山下、山下です。

しばらくの走行音。走行音が緩んでくる。

車内アナウンス エー、お急ぎのところまことに申し訳ございません。新地駅手前で火災との情報がありました。安全確認のためにしばらく停車させていただきます。

停車。走行音が止み、モーター音が残る。

車内アナウンス 本日はお急ぎの所まことに申し訳ございません。ただいま沿線火災のため、停車中です。詳しい情報が入り次第お知らせいたします。

くらもち、きよろきよろする。携帯を見る。モーター音止まる。遠くに消防車のサイレン。

車内アナウンス エー、お客様にご連絡いたします。この先、新地駅の手前で、野焼きによる枯れ草火災が発生し、現在消防が消火に当たっております。安全の確認が取れ次第発車いたしますので、今しばらくお待ちください。お急ぎの所まことに申し訳ございません。

## 0. 常磐線車中

開演前。

車内の走行音が響いている。舞台上にはくらもち一人座つている。ときおり車内アナウンスが聞こえる。

車内アナウンス 本日はご乗車いただきまことにありがとうございました。この電車は常磐線各駅停車いわき行きです。お客様にお願い申し上げます。携帯電話のご使用は、他のお客様のご迷惑にならない申します。

1

2

間。

車内アナウンス　えー、お待たせしております。間もなく発車いたします。速度調整により、遅れを取り戻しながら運行して参ります。本日はお急ぎの所まことに申し訳ございません。次の停車駅は新地です。間もなく発車いたします。

モーター音が再開する。しばらく走行音。開演。

## 1. 常磐線停止

車内アナウンス　本日はJR東日本常磐線にご乗車いただきまことにありがとうございます。この電車は各駅停車いわきです。お急ぎの所まことに申し訳ございません。速度調整いたしまして、定時回復に努めております。終点いわきには、定刻15時59分に到着する予定です。次の停車駅は、磐城太田、磐城／

ガガガガッと激しい音がして、電車止まる。  
ギィーっとブレーキ音。プシュー。

車内アナウンス　只今、停止信号により緊急停車致しました。このまま、しばらく／（ブチッと切れる、間）えー本日は、お急ぎのところまことに申し訳ございません。ただいま強い地震により停車しております。現在状況確認と情報収集を行っております。そのまましばらくお待ちください。

車掌（畠澤）、上手から下手にとおり抜けようとする。

くらもち　あの、これ、復旧します?  
車掌　えーとですね、ちょっと指令ともつながらなくて、携帯でも繋がらないんですが、しばらくお待ちください。

くらもち　いわきには行けるんでしようね?  
車掌　えーと、いろいろ確認中ですので、しばらくお待ちください。  
くらもち　どうなるかはつきりしてもらわないと困るんですが。  
車掌　とにかく、しばらくお待ちください！

車掌、おもむろに帽子をとる。

畠澤　くらもちです……誰がなんと言つてもくらもちです。たった今まで車掌でしたが、くらもちです。……あの日、わたしは、盛岡から仙台まで車に乗り、仙台駅東口に車を置いて、常磐線各駅停車でいわきを目指していました。途中、確か新地駅の手前だけたと思うんですけど、沿線で火事があり、15分ほど停車したんですね。ごくごく当たり前の、ありふれた事故です。その時は特に慌てる人もなく、のんびりしたものでした。そのあとの地震は……電車の中だつたんで、どのくらいの揺れだったのか実感がなかつたです。

畠澤、帽子をかぶつて歩き始めようとする。

くらもち　あつと、ええと、どんな感じですか?  
車掌　今ちよつとまだ状況確認中ですので、ちよつとお待ちくださいね。  
くらもち　いや、でももう結構待つてるよ。

車掌　申し訳ありません。

くらもち　あの、トイレは使えますか?

車掌　ああ、電気止まつちゃつたんで、水流れないんですけど。

くらもち　おしつこなら大丈夫?  
車掌　ええ、まあ、小くらいなら大丈夫です。

くらもち　どうなりますかね?

車掌　水流れないだけなんで、あふれるってことはないと思いますけど。

くらもち　いやいや、トイレじやなくて、この状況。  
車掌　ああ、復旧の見込みがあるかどうかなんですが、ちょっと指令とも上手く連絡取れてなくて、ちょっと聞いてみますけど。

くらもち 復旧したら、ちゃんと終点まで行きますか？？

車掌 いや、ちょっとこんなのが初めてなもんで……。

くらもち 何時頃になりますかね？

車掌 まだちょっとわからんですが、あの、復旧しないようであれば、バス代行ってことになると思います。バスが到着いたしましたら、ここで降りていただいて、そこの田んぼのあぜ道を歩いてバスにお乗りください。

くらもち バス代行はいわきに行きますか？

くらもち バス代行でどこに行きます？

車掌 いや、恐らく原ノ町に戻ることになると思いますけど……。

くらもち 戻るのかあ。何時頃来ますかね？

車掌 それは……ちょっと情報収集中ですので……。

あの、お手持ちの切符は払い戻しあるかも知れませんので、大切にお持ちください。

くらもち あ、はい……。

くらもち、携帯をかける。くらもちは電話の相手と話す。

くらもち もしもし？ あー、つながった、つながった……うん、やつとやつと。そっち、揺れた？……あ、そう……メルは？……

そう、良かつた……いや、別にメルだけ大事な訳じやなくて……

これから？……あー、悪いね。うん、よろしく。……今原ノ町過ぎたあたりで、常磐線の中。うん、止まつた。脱線したかと思つた。でも、そつちは無事なのね？……わかつた、一応、どうなる

かわかんないんだけど、俺、このまんまいわき行くから……え？

……なに？ なんでもないって何よ？ 気になるじやない……じや、いいけど……うん。そつちも気をつけて……はい、それじや……。

くらもち、携帯を切る。車掌、下手から戻つてくる。

車掌 えー皆様にはお急ぎのところ大変ご迷惑をおかけしておりまです。ただいま地震のため停車中ですが、ようやく指令と連絡がつきました。復旧の見通しが立たないため、バス代行を要請しました。バスは原ノ町駅に向かいます。

車掌、帽子をとる。

畠澤 くらもちです。誰がなんと言おうとくらもちです。バスが到着するまで約1時間。一行は到着したバスに乗り、原ノ町駅へ向かいました。駅では払い戻し窓口が混雑し、途方に暮れた乗客たちが次善の策を求めて右往左往していました。その間に、津波は福島沿岸にも到達し、電車も流されました。誰も気づいてはいませんでした。わたしは、いわきで会う予定の相手に、電話をかけ続けましたが、どうやつてもつながりませんでした。

畠澤、帽子をかぶつて上手に去ろうとする。

## 2. レンタカー、からの、タクシー

くらもち すいません！ 今借りられる車あります？

畠澤 え？ くらもち ここ、ニッポンレンタカーですよね。

畠澤 え？ くらもち ニッポンレンタカーですよね？

畠澤、マスクをつける。

畠澤 ……トヨタレンタカーです。

くらもち どつちでもいいんですけど、今借りられる車あります？

畠澤 今お出しできるのは1台だけですね。この状況ですから、帰つてくる予定の車も帰つて来てませんし。

くらもち 仙台に明日乗り捨てつてできます？

畠澤 できますよ。くらもち いくらで？

畠澤 2万9千円ですね。くらもち 2万9千円かあ……ナビついてます？

畠澤 ついてますよ。

くらもち よしつ！えつと、2万9千円……。

くらもち、財布を取り出し、のぞき込む。

くらもち 2万7千円にならない？

畠澤 いや、ちょっとそれは……。

くらもち だよねえ……後払いってできたつけ？

畠澤 それもちよつと……。

くらもち うーん……あ！ カードで支払いできます？

畠澤 カード……カード……今停電してるんで、ちょっと。

くらもち だよねえ……あ、ちょっと今、切符、切符払い戻せばいい

けるかも……。

畠澤 ああ、払い戻し……。

くらもち ええ、ちょっと、チャレンジしてみます……風邪ですか？

畠澤 ええ、まあ。

くらもち お大事に。

畠澤 どうも。

くらもち んじや、またあとで……。

畠澤、去ろうとする。

くらもち あのお、運転手さん？

畠澤 え？

くらもち あの、あれ（指して）払い戻しの列ですか？

畠澤、マスクを外す。

畠澤 ・・・ 払い戻しの列だよ。

くらもち あちゃーっ。

畠澤 この駅にあんなに人いるの、見たことないねえ。  
くらもち ああ……すいません、あの、これくらいわきまでタクシ  
ーで行くと、いくらくらいで何時間くらいかかりますかね？

畠澤 検討もつかないね。

くらもち あの、運転手さん、いわきまで行つてもらえませんか？

畠澤 いやいや行かない行かない。俺、相馬から来たから、北に向

かうお客様だけ。

くらもちああ。

畠澤 あっ、加藤さん、加藤さん？

加藤、登場。

加藤 なに？

畠澤 こちらのお客さん、いわきまで行きたいんだって。

くらもち はい。

加藤 いわきかあ。

くらもち いくらくらいで何時間くらいかかりますかね？

加藤 この状況だからねえ、普段だつたら1時間くらいだけど、2

時間か2時間半くらい？

畠澤 そんなもんだろうね。

くらもち ああ。

加藤 小高のあたりは駅前まで水来たつていうし、6号線も津波か

ぶつてるつて話だからねえ。

くらもち で、いくらくらいで……。

加藤 まあ、2万か、2万2千円くらいだね……。

くらもち 2万か、2万2千円ねえ……わかりました、ちょっと待

つてて頂けますか？

畠澤 じゃ、ほんとに。あと、よろしくって感じで。

くらもち すぐ、戻りますから。

畠澤、去る。加藤、椅子を運びタクシーを作り始める。

くらもち すいませーん！今から、5千円払つてもいわきまで行きたい人いませんかー！えーと、ここからタクシーでいわきまで行くと、この状況ですから、大体2時間から2時間半。料金は2万から2万2千円だそうです。……はい、いわきまで5千円くらいです。あのー、警戒しないでください。決して怪しい者じや

ありません。あの、言い訳すればするほど怪しいと思われるかも知れませんが、ホントに怪しくないんです！えーと、今から5千円払つてもいわきまで行きたい人いませんかー！タクシーでいわきまで行くと、この状況ですから、2時間から2時間半。料金は2万から2万2千円だそうです。

佐藤、客席から手を挙げる。

佐藤　はい、わたし行きます。  
くらもち　あ、いた。どうぞどうぞ。

佐藤、客席から舞台に上がつてくる。  
東海林、客席から手を挙げる。

東海林　はい！  
くらもち　いらっしやい！　テレレレッテッテッテーン！他には、いかがですか？五千円でいわきまで行きたい人、いらっしやいませんか？せんか？いらっしやいませんか？

東海林、客席から舞台に上がつてくる。

東海林　はい、後1人！

三上、客席から手を挙げる。

三上　はい！お願いします！  
くらもち　よっしや！テレレレッテッテッテーン！

三上、客席から舞台に上がつてくる。音喜多、いつのまにか三上の後ろにいる。

くらもち　えーっと、ひい、ふう、みい、よー、あれ？　一人多い。  
みんな、数え合う。

東海林　ほんとですね。

くらもち　お子さん？

三上　いえいえ、まさか。

音喜多　お願ひします！

くらもち　お嬢ちやん何年生？

音喜多　えーと……、高校生です！

佐藤　高校生かあ……ホント？

音喜多　一緒に行けるところまで行ければいいんです！

東海林　行けるところまでつて、方向違つたらダメでしょ？

音喜多　と、途中で下ろしてもらつても構いません！

くらもち　いやいや、そういうわけにはいかないでしよう？どこまで行くの？

音喜多　……。

くらもち　いわきに行くけど……。

音喜多　あたしもそこです。

佐藤　なんか、ホント？

音喜多　はい……。

佐藤　これ中型か？　中型なら乗れるのか？

加藤　お客様さん、勘弁してくださいよ。運転手いれて6人までです。

佐藤　そうなの？　じや、だめだ。中型待ちます？

くらもち　いやいや、これ逃したらいつ来るかわからんないし、それに、2万か2万2千円で言つてくれた方だし。

三上　んじや、一番最後だったあたしが……。  
くらもち　いやいや、女性一人を置いとくわけにはいかないでしよう？

佐藤　それもそうですね。

音喜多　……。

東海林　女の子は乗せてかないと……。

くらもち　んじや、俺、あきらめますか……。

佐藤 いやいや、声かけてくれた人が乗らないわけにはいかないで  
しょ……。

東海林 そりやそうだ。

佐藤 となると、わたしかあなただね……。

東海林 そういうことになりますね……。

佐藤 じやあ恨みっこ無しで、じやんけんということです……。

東海林 そうですね。最初はグー入れます？

佐藤 そうですね、入れましょう。

東海林と佐藤、「最初はグー」とじやんけんをし始める。

助手席に三上と音喜多、うしろに男性3人乗る。最初のエンジン音。

加藤 それじゃ、出発しますよ。あの、この状況ですから、どうい

うルート取るかわからんんですけど、何とかいわきまでたどり

着きたいと思いますんで。よろしくお願ひします。

全員 よろしくお願ひします。

佐藤 いやあ助かつたあ……。

三上 ありがとうございます。声かけていただいて。

東海林 ホント、もう公共交通機関全部ダメだから、どうやつてい

わきまで行つたんもんか途方に暮れてましたもの。

佐藤 わたしも、ほんとに。

東海林 仕事でね、どうしてもいわき行かなきやヤバいんですよ。

佐藤 わたしも、ほんとに。

東海林 今日はあれですね、タクシー大もうけじやないですか？

加藤 まあ、でも、いまはそんなときなんてないからね。たまに稼

がせてもらわないと……。

くらもち でも、すごいですよね、この状況でも普通に働いてるん

ですよね。

加藤 いやあ、仕事ですから……。

東海林 雨が降ろうが槍が降ろうが、会社は会社ですからね。(た  
め息)

くらもち いいやとにかく、みなさんありがとうございます！

ほんとよく集まりました。テレレレツテツテツテーン！

三上 あの……そのテレツテレツていうの、なんですか？

佐藤 あれ？ 知りません？ ホイミスライムが仲間になつた！

みな、乗り込もうとする。なかなかうまく乗れずに、乗つた  
り降りたりする。

三上 これ、私たち二人、前つてありますか？

東海林 ああ、ありあり。

加藤 シートベルト、してくださいよ。

三上 ほら、私がちやーんとシートベルトして、で、こういう風に  
だっこして、ねつ。

音喜多 すみません。

三上 いいのいいの。

### 3. 出発

三上 ホイミスライム？  
佐藤 いや、だから、ドラクエですよ、ドラクエ。  
音喜多 ゲーム、ゲーム。  
くらもち あの、ちゃんと説明すると、ドラゴンクエストってい  
うゲームの、レベルアップの音が、テレレレツテツテツテーン。  
三上 んー、やっぱりなんだかよくわかんないです。  
くらもち ドラクエは知ってる？  
三上 それは知っています。  
佐藤 やつたことは？  
三上 ないです。  
音喜多 いいよ、やんなくても。  
三上 そう？  
音喜多 ゲームなんて、他にやることない閑人のやるもんだよ。  
佐藤 厳しいなあ。  
くらもち みなさん、いわきの方ですか？  
三上 あたし、いわきまで帰る途中で……仙台でミスチルのコンサ  
ートあつたんですよ。  
佐藤 ミスチル、いいですね。  
三上 いや、別に好きってほどでもないんですけど。  
佐藤 ああ。  
東海林 牛タン食べました？  
三上 ええ、食べました。やっぱり仙台行つたらねえ。  
東海林 わたしもね、ちょっと贅沢しようと思うと、どうしても牛  
タン食っちゃいますね。  
音喜多 牛タン好き。  
三上 そう。  
音喜多 トロ口嫌い。  
三上 そう。  
音喜多 そう。  
三上 そう。  
音喜多 トトロ好き。  
三上 そう。  
佐藤 いいですねえ、わたし、食べたことなくて……。  
三上 一回もですか？  
一回あります、お土産のは……。  
くらもち お店では？

13

佐藤 未だに……。  
くらもち それは不幸だなあ……。  
音喜多 わたしの人生そういうのばっかりで……。  
佐藤 目指してるとこにたどり着かないんですけど……。今日だつて、  
いわきに向かつて出発した途端にこれですから……。  
間。  
加藤 あの、普段は6号線行くんですが、途中で津波かぶつて通行  
止めになつてるっていうんで、山の方通りますから。  
くらもち あ、はい、それはもう、通れるところを通つていただけ  
れば……。  
加藤 はい……。  
くらもち あ、名乗つてませんでしたね。私、盛岡のくらもちと申  
します。  
東海林 東海林と申します。名刺を（身動きとりづらい）……。  
くらもち ああ、あとでいいですよ。  
三上 三上です。あ、名刺とかないんですけど。  
佐藤 三上さん。  
三上 はい。  
佐藤 三上、なにさん？  
三上 三上みかです。  
佐藤 ああ、どんな字、お書きになるんですか？  
三上 ひらがなです。  
佐藤 三上みか、いいお名前ですね。あ、申し遅れました。私、佐  
藤と申します。佐藤清です。きよしこの夜の清。ま、清らかな男  
だと覚えてください。  
三上 ……どうも。  
くらもち えーっと、お嬢ちゃんは？  
音喜多 幸子です。

14

くらもち 幸子ちゃん。

音喜多 はい。あ、音喜多幸子です。

くらもち 音喜多つてどんな字書くの？

音喜多 おんがくを、よろこぶ人が、多いと、幸せな、子ども。

くらもち 珍しいね。

音喜多 八戸にある名前なの。

くらもち 八戸から来たの？

音喜多 ううん。

くらもち どつから来たの？

音喜多 ……。

加藤 あ、ああ……。

と、うめくような声を上げる。全員、のぞき込むように前の  
方を向き、同様の声を上げる。

加藤 こりやとんでもないことになつちやつてるな。  
東海林 あららららららら。

音喜多 わー。

くらもち 1メートルくらいありますね。

加藤 浮き上がつちやつて。

三上 あれは、マンホールが浮き上がつちやつたんですかね？それ  
とも回りが沈んじやつたんですかね？

くらもち さあ、それはどつちなんでしょうねえ……。

車は浮き上がつたマンホールを大きく迂回して進む。

東海林 しかしすごいな……あの、写真撮つてもいいですかね？  
くらもち ああ、いいんじやないですか。

東海林 減多にないことだと思うんで……。

東海林、バッグからデジタル一眼レフを取り出す。

加藤 止めますか。

東海林 ああ、すみません。

車、止まる。東海林、何枚か撮る。

くらもち デジイチですか？

東海林 ええ、まあ、デジイチです。

くらもち キヤノンですね。

東海林 ええ、まあ、キヤノンです。

くらもち これ、地割れもすごいですね。

東海林 ちよつと、そこら辺、撮つてきてもいいですかね？

くらもち どうぞどうぞ。

他全員、何となく同意する。  
車から降り、あちこちにシャッターを切る東海林。

くらもち やつぱ、写真撮りたいよねえ。写真撮る人は……。

佐藤、時計を見る。

くらもち お急ぎなんですか？

佐藤 ええ、まあ。その、7時に集合なもんで。

加藤 7時ですか？普段なら楽勝なんですがね。

くらもち ま、行けるだけでよしとしないと。

佐藤 ……そうですよねえ。

佐藤、携帯を出して、窓から撮る。東海林、戻つてくる。

東海林 ありがとうございました。とりあえず発車オーライで。

加藤 んじや行きますよ。

車、走り出す。

東海林 地割れなんて生まれて初めて見ましたよ。

くらもち 地割れはね、見たことあるんです。すごいのを。岩手宮  
城内陸地震の直後に現場に入ったことありますね。それが、初

めてでしたかねえ。

車内の4人、曖昧に返事を返す。くらもち、岩手宮城内陸地震の話を語り出す。

音喜多 おじさん、カメラマン？ですか？

東海林 違うよ。

くらもち ま、カメラマンの方だと、もうちょっと違う格好ですよ

音喜多 ええ、まあ。

くらもち いわきへは、お仕事で？

東海林 ええ。どうしても今晩のうちに着いておきたくて。

くらもち どういった？いや、差し支えなければ。

東海林 当ててみてください。

佐藤 ああ、そういう風に返せばいいんだ。なるほど。ちょっとメ

モさせてもらつていいですか？

東海林 いいですよ、別に。

佐藤、携帯にメモる。

三上 堅いお仕事ですね？

佐藤 えー、なんだろ？ 公務員！

東海林 違います。

くらもち そんなんで、当ててみてくださいとか言わないでしょ。

佐藤 ジやあ、なんだと思います？

くらもち バーテンダー。

東海林 違います。

くらもち あらあ、いい線行つてると思つたんだけどな。さすらい

のバーテンダー。

東海林 ははは。さすらうんですか、バーテンダー。

くらもち さすらい、いいでしょ？さすらいの美容師。さすらいシ

エフ。さすらいドクター。

東海林 ははは、全部違います。

三上 なんだろ？先生かなとか思つたんですけど、公務員じやな

いんですね？

音喜多 わかつた！運び屋だ。

三上 まさかあ。

音喜多 おじさん、ヤクの売人なの。だから、予定どおりにヤクを運ばないと殺されちゃうの。

東海林 違います。

三上 まさかね。

音喜多 じや、殺し屋。

佐藤 想像力たくましいね。

音喜多 期限までにその人を殺さないと、今度はおじさんが殺されちやうの。

くらもち どうやつても殺されちゃうんだ。

音喜多 捻破りは死をもつて償うの。

東海林 まあ、たしかに、毎日命すり減らしてる感じはあるなあ。

三上 お住まいは？

東海林 仙台です。

くらもち 仙台か、なんでもありだなあ。いよいよもつてなんだ

ろ？

東海林 すみません、引っぱつちやつて。あの、予備校に勤めてる

くらもち 先生ですか？

三上 ★ああ。

★なるほど。

東海林 いえ、営業やつてましてね。

くらもち 予備校つて営業あるんですか？

東海林 あるんですよ、今日もその、明日からいわきでイベント

の予定で。

くらもち いや、予備校にそういうのあるつて知りませんでした。

三上 ああ、でも確かに、予備校から学校あての郵便物つて結構ありますよ。

佐藤 学校関係のお仕事ですか？

三上 いえ、そういうわけじゃないんですけど……。

くらもち イベントつていうと……。

東海林 まあ、受験相談会とかですね。

くらもち 受験相談会……。

東海林 3月ですから、その、受験シーズンですよね。今受験の

相談したつて、そりやもう願書も出しちゃってるでしょから、

そういう、なんていうか前向きのあれじやなくてね……。

くらもち なんか奥歯に物が挟まつたような言い方ですね。

東海林 奥歯の物を取つ払つて言うと、まあ、つまり、ぶつちや

け大学落ちたら来てくださいよってことなんですけど。

佐藤 うわあ、ぶつちやけるとなんだかスゴいイベントだなあ。

東海林 結構あちこちでやつてるんですよ。この時期の営業大事

なんですけど、こんなことになつちやつたらなあ……。原町とか

相馬とかちょっとそれどころじゃないですよねえ？

くらもち まあ、そうかも知れないです。

東海林 やつぱり、明日は無理かなあ。

くらもち 難しいんじやないですか？

東海林 やつぱり難しいですよね。いやね、何人入れられるかなん

て確約できませんからね、相談会に何人呼んだかが査定の規準に

なるんですよ。なんか、リストラやるらしくて。

くらもち 大変ですね。

東海林 くらもちさん、どちらにお住まいですか？

くらもち 盛岡です。

東海林 ああ、盛岡でも結構やつてますよ。今遊びに来てくださいよ。（名刺を渡す）

くらもち いやいや、中年男が予備校の相談会に遊びに行つたところで……。

東海林 あつという間ですよお。

くらもち おおつ、営業だ。

東海林 （佐藤に名刺を出して）佐藤さんもよろしくお願ひします。

佐藤 いや、その、僕、独身なもので。

東海林 生涯独身のおつもりですか？

佐藤 いやあ、決してそういうつもりでは。

東海林 じゃあ、よろしくお願ひします。

佐藤、受け取る。

東海林 三上さんも。

三上 どうも。でも、私がこれから結婚して、子供産んで、その子

が予備校に行くよりは、幸子ちゃんの方が早いかと思いますけど。

東海林 それはそれとして、じゃあ、幸子ちゃんも困つたらいつでも。

東海林、三上と音喜多に名刺を渡す。

音喜多 その節はよろしくお願ひします。

佐藤 わかつた！ 三上さん、郵便関係ですね！

三上 ずっと考えてたんですか？

佐藤 当たり？ 当たりました？

三上 正解です。

佐藤 よつしやあ！

くらもち さすらいの郵便局員。

佐藤 あの、さらにもう一つ、あの、三上さん、もしかして同じ車両に乗つてました？あの、しまむらの前のところの……。

三上 ああ、そうですそうです。

佐藤 やつぱり。偶然ですねえ。運命ですかね？

くらもち そりや、あそこにいた人はみんな、同じ電車でしよう。

佐藤 バス代行がいわきに行つてくれりやよかつたのにねえ。

くらもち 戻されましたからね、原ノ町に。俺に原ノ町に戻つてどうしろつて言うのよ。

加藤 いわきまでは70キロ以上ありますからねえ。

くらもち そりやまあ、いわきに行くよりちょっと戻れば原ノ町だからなあ。

佐藤 いわきへは……。

くらもち ああ、ちょっと人と会う約束がありましてね。いわきに

ホテル取つてるんで。

東海林 盛岡に戻ろうとは思わなかつたんですか？

くらもち いや、だつて、そんな、ねえ、大丈夫でしょ、きっと

三上 普通はウチに帰りますよね？こんなことになっちゃったんだから。  
くらもち いやいや、普通は行くでしょ。約束してるんだから。そんな、こんなことになっちゃってるのは、思ってなかつたんですよ。

佐藤 女性ですよね？ その方。

くらもち ええ。佐藤 もしかして、色っぽい話とか？

くらもち いやいや。

佐藤 そうかなあ？

くらもち ないですってば。ないんです。

佐藤 むきになつて否定するところが怪しいよね。

三上 ええ、まあ。音喜多 女の影。

くらもち ちよつとそういうアレジやないんですねから……。

佐藤 でもこの状況じや、帰る方向に行くのが普通ですよね？

くらもち 何もなければ行くのが当たり前なんですから、当たり前のことは当たり前にやらなきや……。

佐藤 普通はそうですが、ねえ？ 東海林 私もそう思います。

佐藤 ですよね。

## 4. 障害

加藤 ああ、こりや、どうかな？

車が止まる。

東海林 橋、浮き上がつてますね。くらもち 橋も浮き上がつてるんですけど……。東海林 越えられつかな？

加藤、表に出る。乗客たちも外に出てみる。

佐藤 斜めに行けば何とかなりそうですかね？

くらもち 反対側、対岸の段差は大丈夫ですかね？

加藤 ちょっと、見てきますか。東海林 んじやちょっと、行つてみましよう。

くらもち はい……。

音喜多 私も行く。

取り残される三上と佐藤。

三上 ……ああ、軽自動車、あんなところまで流されて来てる。

佐藤 え？ どこ？ どこですか？

三上 あそこ、あっち、上流のほうです。

佐藤 あ……ああ、ホントだ……。

三上、携帯を取り出してメールをチェックする。佐藤も電話をかける。つながらない。

三上 届いてないみたい。

佐藤 恋人ですか？

三上 いえ、両親とまだ連絡とれてなくて。

佐藤 ああ、ご心配ですね。

三上 ええ、兄も姉も家を出でしまつてて、普段は私が面倒みてるんですよ。まあ、面倒みてるっていうか、向こうは、私の面倒み

てるつもりなんでしょうけど。

佐藤 ああ……摇れていますね。

三上 ほんとに？

佐藤 大丈夫、僕がついてますから。

三上 摆れてます？なんか、ずっと車乗つてたから、よくわかんないですか。

佐藤 やっぱり余震ですかね。まあ、あれだけのものですからね。そりや余震もありますよね。

いや、収まつたと思いますよ。

ああ、あれ？なんか揺れてる気がする。

大丈夫ですか？

ええ。  
佐藤 三上  
佐藤 三上  
佐藤 三上

三上、電話をかけてみる。通じない。

佐藤 いま、どの辺かわかります？

三上 まあ、あたしも良くわかんないですけど、浪江あたりじゃないですか？

佐藤 ああ……あの……20歳くらいの年の差って、女の人はどうなんですかね？

三上 え？いやあ、人それぞれじやないですかねえ。

佐藤 やつぱどうしようかなって思っちゃいますよね？

三上 相手次第じやないですか？

佐藤 あと、兼業農家でも、やつぱり農家は農家ですかね？

三上 え？いいや、でも最近は農家も昔ほどじやないんじやないですか？だつて、少なくとも食いつばぐれはないでしよう？

佐藤 まあ、そういう心配は、無いです。だつて、土地は手放さなければありますから。ねえ、土地つて大事ですよ。地面があれば、何か作れますから。機械で大きな借金でもしない限り、大丈夫だし、それに……JA勤めますから。

三上 農家も悪くないんじやないですか。

三上 そうですか！そうですよね！悪くないですよね！

佐藤 あ、あと、えーと……。

佐藤 いやあ、ウチ、高倉で米作ってるんですが、JAにも勤めてます。あ、さつき言いましたね。いやあ、こういう出会いもあるんですね。三上 はあ……。

みな、戻つてくる。くらもち、携帯をかけ始める。

三上 どうですか？  
まあなんとか、斜めに入れば大丈夫そうです。

東海林 ここ迂回してたらまた遠回りですもんね。  
加藤 うん、まあ……。

一同、車に乗り込む。

佐藤 いやよかつたですねえ！

三上 運がいいですね、あたしたち！

音喜多 ツイてるツイてる！

東海林 くらもちさん？

くらもち（携帯つながらないのをあきらめて）あ、はい。

くらもちも車に乗り込む。

加藤 んじや、行きますけど、ちょっとガクンとしますよ。気をつけてくださいね。

ガクンとみんな傾ぐ。

三上 盛岡もつながらないですか？  
くらもち ご心配ですね。

くらもち いや、家の方は大丈夫だつて、さつき。

三上 あら。

音喜多 いわきの女。

くらもち あのねえ、

佐藤 つながらないと心配ですよね？ その方も心配してますよ、

きつと。

くらもち つたく、そんなんじやないんですよ。仕事の打ち合わせですか。

音喜多 「仕事の打ち合わせですから。」

くらもち こらつ。あの、運転手さんは、さつきどうだつたんですか？  
加藤 ええ？  
くらもち 地震の時です。  
加藤 ああ……。

くらもち ぼくらはみんな電車の中でしたけど。

加藤 ああ、客待ちしててね、んで、立ち話してたのよ。そしたら、なんか、めまいかなあつて思つたらガガガーッてきて……あとはもうしやがんで、どうしようもないもんね。

くらもち めまいね……。

東海林 ……渋滞、ですね……。

くらもち 屏が、崩れちゃつてますよ……大谷石だ。

三上 ★あの家、道路まではみ出しちやつてる。

くらもち ★普通、こんなところで渋滞しないですよね？

加藤 こんな山の方、普段は通らないからねえ。みんなこっちまわつて来ちやつてるんだねえ。

佐藤 これ、この先、通れるんですかねえ……。

加藤 どうなんでしょうねえ。

東海林 ……こりやあしばらくはこの話題で持ちきりだな……。

くらもち 一生語り継げますね。

古代ギリシャ風の衣装を着たメロスが走り出でくる。舞台中央に至るとその場走り。タクシーの面々はストップモーション。くらもちだけは、メロスが気になり、立ち上がりてメロスの一舉一動を注視する。

メロス メロス、激怒しました。

メロス、走っている。くらもち、真似をする。

メロス メロス、政治がわかりません。メロス、村の牧人です。

笛を吹き、羊と遊んで暮して来ました。三日前の未明、メロス、村を出発し、野を越え山越え、十里はなれたシラクスの市にやつて来ました。人通りのない街で、一人の老人に出会いました。

と、メロス、舞台を一周する。くらもち、見ている。

メロス 「王様は、人を殺します。」「なぜ殺すのだ。」「悪心を抱いている、というのですが、誰もそんな、悪心を持つては居りませぬ。」「たくさんの人を殺したのか。」「はい、はじめは王様

の妹婿さまを。それから、御自身のお世嗣（よつぎ）を。それから、妹さまを。それから、妹さまの御子さまを。それから、皇后さまを。それから、賢臣のアレキス様を。」

と、メロス、舞台を一周する。くらもち、真似をする。

メロス 「呆れた王だ。生かして置けぬ。」メロス、単純です。買い物を背負つたままのそのそ王城に入つて行きました。たちまちメロス、捕まりました。メロス、懐に短剣入れてました。死刑！

と、メロス、捕縛される。くらもち、考え込む。

メロス 「王様にお願いします。処刑までに三日間の猶予を与え下さい。たつた一人の妹に、亭主を持たせてやりたいのです。三日のうちに私は村で結婚式を挙げさせ、必ず、ここへ帰つて来ます。」「ばかな。逃がした小鳥が帰つて来るというのか。」「この市にセリヌンティウスという石工がいます。私の無二の友人だ。あれを、人質としてここに置いて行こう。私が逃げてしまつて、三日目の日暮まで、ここに帰つて来なかつたら、あの友人を絞め殺して下さい。」「よし、わかった。三日目の日暮れ、三日目の日暮れまでだぞ」

と、メロス、舞台を一周する。

メロス セリヌンティウス、王城に召されました。縛打られました。メロス、すぐに出発しました。初夏、満天の星でした。

くらもち、タクシーに戻つている。加藤、窓を開け、メロスに話しかける。くらもち以外には、メロスは普通の対向車の運転手に見えている。

加藤 この先、通れるの？

メロス まあ、通れるよ。

加藤 6号線は？

メロス ダメダメ、途中通れるところもあるけど、津波かぶつて  
るところもあるし、陥没もしてるって。

加藤 やっぱり、山麓線かい？

メロス 僕も途中から山麓線。

加藤 大野の方はどうなつてるか分かる？

メロス メロス、わからない。

加藤 いや、街中抜けられるところあるかと思つて。

メロス 津波は来てなかつたみたいだけど。駅あたりには。

メロス どうも。

メロス、走り去る。

加藤 まあ一応何とかいけるみたいだけど、この渋滞じやねえ、途中  
から6号線いけるかと思ったけど、はつきりしないねえ、津波  
かぶつたり陥没してたりみたいだから……。

佐藤 (ひそひそ) もう、いっちやいますよね、2万2千円とか。

くらもち うん……。

佐藤 いわき着いても停電だと、ATMも止まつてますよね……。

くらもち どうだろう？

佐藤 だいたい、本当にたどり着くんでしようか？わたしはきょう  
は絶対いわきに行かなきやならないんです。

東海林 佐藤さんはいわきで何があるんですか？

佐藤 実は……合コンがありまして……。

三上 ★合コン？

東海林 ★合コン！  
くらもち 合コンって、あの合コン？

佐藤 はい、お恥ずかしい話なんですが。

東海林 いや、それは、ちょっと、無理なんじやないですか？

佐藤 そうですか？

くらもち いや、無理でしよう。ねえ。

三上 そりや、ねえ。  
いやあ、連絡も取れなくなつちやつて、でも、やっぱり約束

は約束ですから、もしダメでも行かなくちゃつて……。

三上 そんなにまで……。

佐藤 はい……。

音喜多 バカだ。

くらもち いや、でもまあ、わかりますよ。いわきは大丈夫かも知  
れませんしね。

佐藤 そうですよね！

間。

佐藤 やっぱなにがあつてもそこに行くっていうね……。

音喜多 合コンでそれはないでしようよ。

東海林 幸子ちゃん、キツいね。

音喜多 だつて、ねえ。

三上 いや……。

くらもち 相手は、どんなアレなんですか？

佐藤 いやまあ、30代から上限定みたいな……。

くらもち それは、なんというか、現実的ですね。

佐藤 そうなんですよね。わたしもまあ、そう浮かれてられる年齢  
でもないので……。

音喜多 浮かれてないんだ。

くらもち そういうアレだと、もしかしてつて事もありますからね。

佐藤 そうですよね！

くらもち いやいや、あんまり無責任なことも言えませんけど。

佐藤 くらもちさんだつて、その人に、とにかく会いに行く訳です  
よね？

くらもちえ？ ええ。

音喜多あとでモernerよ。

くらもち ええっ！

音喜多 「私とその人とどつちが大事なの？」女はね、必ず言うの。

佐藤 どういう小学生よ。

三上 でも、奥さんとか、どう思うんですかね？

くらもち え？ いや、だつて、とりあえずいわき行くからつて伝  
えた訳で……。

三上 いやいや、この非常時に、家族からどんどん離れていく訳ですよね？

くらもち まあ、そうですね……。

三上 奥さんにも、仕事の打ち合わせ、とかつておつっしゃってるんですか？

くらもち はい。

三上 失礼ですが、お仕事つて？

くらもちあの、劇作家なんです。お芝居書いてて。

佐藤 すごいですね。

くらもち いや。

佐藤 今度、観に行きますよ。いつですか？

くらもち いやあ、十二月くらいですかね？

太宰治の「走れメロ

ス」って知っています？あれを現代風にアレンジしてアレするんですね

けど。その公演の打ち合わせで／＼

三上 なんていうか、自衛隊とか、警察みたいな、そういう世の中の役にたつお仕事じやない訳ですよね？任務みたいな。

くらもちはい。

三上 のちのち禍根を残しますね、これは。

音喜多 禍根、離婚、禍根、離婚！

くらもち いや、だから、別にそういう話じやないんですよ。

加藤 あの、ちょっとこれ、進まないみたいだから、迂回してもいいですかね？

くらもち いいんじゃないですか。

佐藤 （ひそひそ）2時間か2時間半とか言つてましたけど、とんでもないです。

くらもち うん……まあ、しようがないよねえ。

車、Uターンする。

くらもち いやあ、レンタカー借りなくて正解だった。これじゃ土地勘ないと絶対わかんないもんね。いくらナビあつても。

三上 常磐線はいつ復旧するかわかりませんしね。

加藤 まあしばらくは無理でしょう。小高の方は駅前まで水来たつて言うから。

くらもち いやあ、レンタカー借りなくて正解だった。これじゃ土地勘ないと絶対わかんないもんね。いくらナビあつても。

三上 常磐線はいつ復旧するかわかりませんしね。

加藤 まあしばらくは無理でしょう。小高の方は駅前まで水来たつて言うから。

佐藤 駅前まで？津波ですか？ええーーー！駅前まで？  
加藤 うん、そうみたい……。  
くらもち ……ほんと助かります。  
加藤 ……あの、最初に2万か2万2千円で言ってましたんで、メーター、そこで止めときますから。

乗客たち、顔を見合わせる。

くらもち ありがとうございます。

東海林 いいんですか？

加藤 会社には内緒にしてくださいね。

くらもち 大丈夫です。

三上 ありがとうございます。

佐藤 でもまあ、まだ原ノ町あたりは良かつたんですよ。なんだか

加藤 北の方、新地とか坂元とか駅流されたつて言つてましたから、さつき、ラジオで。

全員ため息のように「ええーーー！」

くらもち ……通り過ぎてきたところだし。

東海林 1本遅かつたらどうなつてるかわかりませんでしたね。

くらもち いやあ、案外間一髪だったのかも知れないです。

東海林 そう考えれば運がいい。

音喜多、三上に耳打ちする。

三上 あのお。すいません！トイレ！幸子ちゃん、トイレに行きました

くらもち いそうです！

音喜多 うん。我慢してたの？

三上 運転手さん、トイレお願いします！緊急事態です！

加藤 え？ああ、はい、ええ？

三上 すみません可能であれば、ちゃんとしたトイレがありそうな

ところで、どうしても間に合わなそうであれば、ちょっと隠れられそうなどころで……。

加藤 どのくらい大丈夫ですか？

三上 とりあえずあと5分我慢！

音喜多 うん。

加藤 ★トイレって……コンビニは閉まってるところ多いだろうし、トイレねえ……大野の街の中行けば、まあ、どっかなんかあるでしよう……。

三上 ★我慢できる？

音喜多 まだ、大丈夫。

加藤 いざとなつたらあれですよ、そこら辺ですよ。

音喜多 うん。

東海林 僕たちはまあどこでもいいんだけどねえ……。

佐藤 あんまり遠回りはしないでくださいね。間に合わなくなっちゃいますから。

三上 佐藤さん、そんなこと言わないでくださいよ。幸子ちゃん、かわいそうじやないです。

佐藤 すみません……。

東海林 まだあきらめてないの？

佐藤 はい。最善の努力を……。

三上 何もこの非常事態に最善の努力なんて……。

佐藤 いやいや、非常事態だからこそ最善の努力なんです。

東海林 佐藤さん、二兎を追う者は一兎も得ず、ですよ。

佐藤 私は一兎でも三兎でも迫りますよ。これまで、わたしはい

つも、その、最善の努力をする手前で、あきらめちゃってたんですね。でも、今回このような事態にはなつちやつたけれども、いいや、このような事態だからこそ、頑張つてみるべきなんじやないかと思つたんですよ！

東海林 そういうった努力は違う方向に向けた方がいいんじゃないかなあ。

加藤 あの、ガソリンスタンド閉まってるけど、ありますね。もし

かして、トイレだけでも開いてれば……。

音喜多 お願いします！

加藤 んじやとりあえず寄つてみるだけ寄つてみますね……。

タクシーを停める。加藤を残し、全員降りる。

くらもち 外には……ないかな？

佐藤 こつちはないね。

東海林 あつた！でも、中だ！閉まってる。

音喜多 ええ一つ、

三上 ええ一つ。

加藤 あの、もうちょっと行けばなんかありますから。

音喜多 ええ一つ。

三上 ★大丈夫？

音喜多 あのお、後ろに座つてください。私、一人で座つた方が……いいかも。

三上 ジや、がんばつて。

東海林 ★なんかって何があるんですか？

加藤 このあたりは何とかセンターとか何とかセンターとか結構あるんですよ。その、公共施設みたいなのが、いっぱい。

東海林 ああ……。

くらもち んじやまず、行きましょう。

後ろに4人並ぶ。

加藤 まだ大丈夫ですよね？

音喜多 うん。

加藤 あちやー、通行止め。警察だよ……。

三上 隠れて！

くらもち いや、隠れるのは三上さん。

三上 あ、はい……。

三上、何となく隠れる。

畠澤 すいません、ここから先通行止めです。ここ右折して迂回するか、戻つて手前を右折するか、いずれ右折で、山の方にお願いします。

畠澤 車をのぞき込む。

畠澤 あれえ？ 一人多くないですか？

佐藤 この非常時に何言つてんだ！ そんなこと言つてる場合じゃないだろ！

佐藤、激高する。びっくりするみんな。

畠澤 ああ、いや、はい。

佐藤 状況を考えてみたまえ！みんな必死で何とかしようとしてるんじやないか！

畠澤 ああ、はい、いや、でも、危険が……。

佐藤 ここに誰かを一人置き去りにする方がよほど危険じやないか！それとも警察は責任を持って送り届けてくれるのか？

畠澤 ああ、いや、あ、そうですね……あの、お気をつけて……。

三上、起き上がる。畠澤、去る。

加藤 余計な時間取っちゃいましたけど、まだ大丈夫？

音喜多 はい……。

加藤 こっちの方になんかあつたかな……。

くらもち しかし佐藤さん、すごい気合いでしたね。

三上 あたしも、びっくりしちゃいました。

佐藤 いやあ……。

加藤 あれ？ あそこは、なんかだな……。

くらもち ああ、なんかですね。

東海林 ああ、そうですね、なんかですね。

佐藤 なんかだなんかだ。

三上 あとちよつと我慢してね。

音喜多 はい……でも、そのなんかが、何でも無かつたらさすが

にヤバイかも知れません。  
佐藤 そこで油断しちゃダメだ！あそこがゴールじやない！無事に終わつたらそれがゴールなんだ！

音喜多 はい！

東海林 ちよつと、調子にのつてんなあ。

加藤 よし来た、何とかセンター的などころですね……。

三上 開いてるかしら？

東海林 あ、トイレのマークある。

くらもち 暗いなあ。

加藤 はい、お待たせしました。

加藤以外、飛び降りるように車から降りる。

東海林 そっち！ そっちだから！

上手を指さす東海林。

音喜多 ありがとうございます！

佐藤 まだだ！ まだ安心しちゃいけない！三上さん、ついつつてあげなさい。

三上 あ、はい。

音喜多、上手に去る。それそのため息をつく。

くらもち 何とか間に合つたかな……。

佐藤 ……ちよつと、一息入れますか……。

くらもち そうですよね、今さら急いだつてしようがない。

東海林 ……しかし、冷えますね……。

くらもち 僕も、トイレ行つとこうかな。

加藤 んじやわたしも……。

東海林 それじゃあついでに……。

ぞろぞろと上手に去つて行くみんな。

佐藤　ええつ、だつたらわたしも……。

残される佐藤。深呼吸をして、後を追う。  
誰もいなくなる。

間。

音喜多、「きらきら星」を歌いながら戻つてくる。誰も乗つて  
いないタクシーを見つめ歌い続けるが、見えないはずの原子  
力発電所に気づき、歌をやめる。原発の方向をじつと見つめ  
る。くらもち、登場。

くらもち　幸子ちゃん、間に合つた？

音喜多　……。

くらもち　幸子ちゃん。

音喜多、くらもちに原発を指し示す。

くらもち　なに？

くらもち、音喜多の近くまで来る。

音喜多　……。

くらもち　なに見てるの？

音喜多、答えずにじつと原発のあるあたりを見つめている、  
くらもちも目をこらすが、くらもちには何も見えない。

音喜多　ほんとはどこまで行きたいの？

音喜多　……。

くらもち　どこに行くつもりだったの？

音喜多　……お父さんのとこ。

くらもち　お父さん、どこにいるの？

音喜多　……わかんない。

くらもち　お母さんは？

音喜多　ずっと前に死んじやつた。

くらもち　そつか。  
音喜多　……。

くらもち　おうちに帰らなきや。

くらもち　帰りなさい。

くらもち　それは無理というものでしよう。

くらもち　どうして？

音喜多　だつて、もうないんだもん。

くらもち　ない？

音喜多、くらもちを見る。

音喜多　ないじやん、今まで住んでたとこなんて、もう。

くらもち　・・・・・

音喜多　今までの場所は、もう今までの場所じやないんだよ。

くらもち　・・・・・

音喜多、また原発のある方角をじつと見つめる。

くらもち　じや、どうするの？

音喜多　……行かなきや。

くらもち　どこへ？

音喜多　お父さんのとこ。

くらもち　だつて、お父さん、どこにいるの？

男たちの声。

東海林　携帯で照らしながらのもなかなか無い経験ですね。  
佐藤　写メ撮つちやおうかと思つたけどあんまり間抜けなんでや  
めました。

東海林　水もなんだかんだとちょびつとは出ましたからね。

話しながら、東海林、佐藤が帰つてくる。

佐藤、先に戻った音喜多、三上を見つけて。

★間に合つた？

音喜多 間一髪セーフでした。

佐藤 おめでとう！

音喜多 ありがとうございます！

佐藤 お礼なら加藤さんに言つて。

音喜多 あ、はい。

東海林 加藤さん、遅いですね。

佐藤 ですよね。

くらもち ……あと、どのくらいですか？ いわきまで。

東海林 ああ、あと半分くらいじゃないですか？

佐藤 半分行きましたかね？

東海林 ああ、まだ半分来てないか……。

加藤 戻つてくる。

加藤 やっぱりみなさん若いですね。

東海林、佐藤、くらもち 若くないですよ。

加藤 いやあ、あたしに比べれば、もう勢いも何もかも……お嬢

ちゃん、真っ暗で、恐くなかった？

音喜多 わりと暗闇大丈夫なんで。

加藤 ★えらいねえ……。

東海林 ★せつかくだから、記念写真でも撮つていきましょう。

東海林、撮影のセッティングを始める。

くらもち そうですね、それ良いですね。

佐藤 三上さんが戻つて来ないと。

くらもち ★もう、戻つてくるでしょ。

東海林 ★ちょっと軽く並んでみてもらえます？

加藤 私、撮りましようか？

東海林 ★セルフタイマーですから。

くらもち ★加藤さんも入りましよう、こういうことなんてまずな

いんだから、一生にもう二度と無いんだから……。

加藤 あつても困りますけどね……。

三上、戻つてくる。

三上さん、三上さん。

三上 お待たせしました。なにやつてんですか？

佐藤 あ、はい。

集合写真集合写真。

三上 囲むと。

東海林 三上さん真ん中に、女子二人で並んで、それをおやじが

三上 はい……。

東海林 わたし、そこに入りますんで……いいですか？ んじや撮りますよ……。

パシヤツとストロボ。

三上 びっくりしたあ……。

東海林 間違つちやつた。えーと、改めて参ります。

東海林、タイマーをセットしてシャッターを切る。素早く走り込んで端っこに納まる。すると、地鳴りと共に揺れが来る。

くらもち ★ああ、また来たまた来た……。

佐藤 ★ゆれてる？ ゆれてます？ ゆれてますよね？

三上 ★大丈夫ですかね？

東海林 ★ちょっと待つたあー！

東海林、慌ててカメラに戻ると、ストロボが光る。

東海林 ああ、また撮れちゃつた。まあいいや、今度こそ行きますよ。

佐藤 まだよつと揺れてる。

くらもち うん、まだまだ。

加藤 今回の余震も長いですよね。

三上 ホントに……。

次第に揺れが収まつてくる。

東海林 さて、気を取り直して、撮りますよ。はい並んで……撮りまーす。

走り込んで並ぶ東海林。

東海林 今度は揺れないでよー。

くらもち 大丈夫大丈夫。

東海林 笑つてー。

ストロボが光り、写真を撮る。

東海林 さて、上手く撮れてるといいんですけど……。

三上 あたし目えつぶつたかも。

東海林 ストロボ見えた?

三上 ええ、まあ……。

東海林 なら大丈夫。

メロス、舞台をぐるぐる回る。

東海林、タイマーをセットしてシャッターを切る。素早く走り込んで端っこに納まる。少しして、パシャリ。

東海林、カメラを取り上げ、再生する。くらもち以外、回りに集まつてきて、覗き込む。

三上 やだあ、あたしやつぱり目が半開き。

大丈夫、大丈夫。

大丈夫じゃないですよ。

ちやんと、キレイに撮れてますよ。

くらもち、バックにした暗闇（客席側）を眺めている。

くらもち あつちの方、なんだか薄ぼんやり明るいような気がしますけど……。

佐藤 結構高台だな……。

くらもち あつちの方、なんだか薄ぼんやり明るいような気がしますけど……。

加藤 暗いですけどね……。

くらもち でも、なんか、真っ暗んだけど、真っ暗な中にも暗いところと明るいところとあるような……。

東海林 そう言われてみるとそんなような気もしますけど……。

くらもち あれはなんですか？

加藤 ああ、あれね……。あれは……フクイチかな……。

東海林 そうだね、フクイチだね。

くらもち フクイチって言うと……。

加藤 福島第一原子力発電所ね……。

くらもち へえ……。

メロス、目をこすりながら登場。

メロス メロス、寝過ごしました。妹の結婚式の翌朝です。日暮れまでに間に合わなければなりません。メロス、ぶるんと両腕を大きく振つて、矢の如く走り出ました。

メロス、舞台をぐるぐる回る。

加藤 大野駅を目指してたからね。いつの間にか近くまで来てたね。

くらもち フクイチっていうんですね。

加藤 そう、フクイチ、フクニ。フクイチに6基、フクニに4基、

合わせて10基の原発が福島にはあるのね。

くらもち 詳しいですね。

加藤 常識、福島人の常識。ねえ。

佐藤 ええ。

メロス、舞台を回り終わる。

メロス 私は、今宵、殺される。殺される為に走るのだ。身代り

の友を救う為に走るのだ。王の奸佞邪智を打ち破る為に走るのだ。若い時から名譽を守れ。さらば、ふるさと。

メロス、舞台をぐるぐる回る。

くらもち  
しかし、大丈夫なんですかね、

この地震で、フクイチ。

佐藤　え、たって、世界に誇る安全基準なんでしょうか？ね？  
加藤　そう。あんまり素晴らしいんで、ヨーロッパから観察に来

からしいで、津波も来たでしょう。

メロス、はたと止まる。

メロス メロス、はたと、とまりました。見よ、前方の川を。きのうの豪雨で山の水源地は氾濫し、どうどうと響きをあげる激流が、木葉微塵に橋桁を跳ね飛ばしていました。「ああ、神々も照覧あれ！ 潶流にも負けぬ愛と誠の偉大な力をいまこそ發揮して見せる！」どりやああああああああッ！

メロス、ざんぶと流れに飛び込み、泳ぐ。

東海林 すごい堤防があるんですね、たしか。  
加藤 こんな長くて高い堤防は空前絶後で、世界中どこ探しても  
ない、とか言つてましたよ。建設中に。

くらもち　へえ。  
加藤　だいたい、事故起きてたら、もう、私たちみんな死んでる  
でしょ。

5人はタクシーに乗る。メロス、川を泳ぎ切る。

メロス メロス、見事、渡り切った時、目の前に一隊の山賊が躍

り出ました。「持ちもの全部置いて行け」「私には命の他には何も無い。そのたつた一つの命もこれから王にくれてやるのだ」「その、命が欲しいのだ」「さては王の命令で、ここで私を待ち伏せしていたのだな」どりやああああああああああッ！

メロス、山賊と戦う。  
タクシーはいわきに近づいていく。

三上 眠くない?

三上  
私も。

くらもちたしかに眼くなりませんね……  
佐藤 これだけ暗くて車に乗つてたら、眠くな

東海林：……あとどのくらいですか？

加藤 ああ、まあ30分くらいかな。さすがに4時間も乗つてると、不安になつてきますよね、本当に着くのかつてね。でも、大丈夫、着実こいつきこ近づいてますから。

メロス、山賊に勝つが、へろへろである。

メロス やんぬる哉

メロス、どう、と、倒れる。  
タクシーはいわきに近づいていく。

くらもち  
あー、街の明かりが、ありますね……。

加藤三上 ああ、いわきは停電してなしんですね。ホントだ。電気ついてる。

明かりがついてるつていうことは、案外大丈夫なんですか。

三上　だといいんですけれど……。

41

メロス、ふらふらと立ち上がる。

メロス 私は信頼に報いなければならぬ。私を、待っている人が  
ある。私の命などは問題ではない。私は信頼に報いなければな  
らぬ。いまはただその一事だ。走れ！メロス！

と、メロス、スローモーションで走り去る。くらもちだけ  
が、走り去るメロスをじっと見ている。

## 6. いわきに到着

タクシーはいわきに到着する。

加藤 はいお疲れ様でした。

くらもち いや着きましたね、いわきに。

三上 途中から、たどり着かないんじゃないかとひやひやしてま  
した。

東海林 いやあ、最初は、相乗りして助かったと思つたんですけど、途中からほんとにこれで良かったのかって不安になります

たからね。

くらもち だんだん無口になつてきましたもんね。みんな。

東海林 でも、ほんとに良いんですか？2万2千円で。

加藤 はい、でも、会社には言わないでくださいよ。

東海林 それは大丈夫ですけど、すみません。

くらもち えーっとね、幸子ちゃんはいいから、一人5千円で。

音喜多 どうも。

音喜多、車から先におりる。

東海林 いやいや、2万2千円だから、一人5千5百円でしょ？

くらもち いやいやいいですよ。

三上 いやいや、ちゃんと割りましょう。

東海林 はい、ちょうど出そうです。

くらもち そうですか？すいません、こちらからお誘いしたのに。

東海林 いやいやこちらこそ助かりました。

佐藤 やっぱり美しいですね。信頼つて。

四人、ごそごそと財布を取り出し、お金を出す。くらもち  
が集める。

くらもち はい、じゃあ、ちょうど2万2千円で。

加藤 はい、ありがとうございました。

くらもち 支払う。全員、車から降りてそれぞれ伸びをす  
る。

くらもち 四時間半かかりましたね、結局。ありがとうございます。

加藤 仕事ですか。

三上 これからまた、四時間半かけて帰るんですよね？原ノ町ま  
で。

加藤 仕事ですか。

東海林 大変だなあ。

加藤 仕事ですか。

くらもち ……ガソリンって言うか、ガス、間に合うんですか？

加藤 間に合いますよ。まだ半分以上ありますから。

佐藤 ……あの、気をつけて。

加藤 はい……。

タクシー、走り去る。

くらもち それじゃあ、みなさん、どうしますか？

東海林 僕はホテル取つてますから。歩いてすぐそこなんで。

くらもち そうですか。

東海林 明日の受験相談会、どうなるかワカンナイですけどね。

くらもち こればっかりはなんともね、

東海林 ジや、皆さん、お気を付けて。

一同 お気を付けて。

東海林、去る。

くらもち（音喜多に）えーっと、どうするの？

音喜多 お父さん迎えに来るから大丈夫。

くらもち ホント？

音喜多 ホント。

三上 本当に？

音喜多 ホントだよ。

くらもち おじさんと一緒に来る？

と、音喜多、携帯を取りだし、通話する。

音喜多 あ、もしもしお父さん。私。うん。いま着いた。親切な人に載せて貰った。うん。タクシー。じゃ、待つてるから。（切る）

三上 そう。（佐藤に）どうするんですか？合コン？

くらもち さすがに相手は来てないでしょ？

佐藤 そうですね。

くらもち 電話しなくていいんですか？

佐藤 そのことなんですけど。

くらもち え？

（三上に）「オズの魔法使い」って観たことがあります？

三上 ディズニーの？

佐藤 ええ。僕、いま、そんな気持ちなんですよ。

三上 は？

くらもち 全然ワカンナイよ、それ。

佐藤 主人公のドロシー、って女の子に三人のお供がつくるんですね。

くらもち ライオン、かかし、ブリキの木こり。

佐藤 そう。弱虫のライオンは勇気が欲しい。かかしは知恵が欲しい。ブリキの木こりは熱い心が欲しい。オズに行けばそれが

もらえるって信じて旅を続けるんです。でも、やつとの事でオズにたどり着いたとき、魔法使いに言われるんですよ。

くらもち 「オマエたちはもうそれを持つておるよ」  
佐藤 そう。旅で幾多の困難を乗り越えるうち、弱虫のライオンは勇気を、かかしは知恵を、ブリキの木こりは熱い心を、それぞれ自分の力で獲得していたんですよ。つまりそういうことです。

☆三上 どういうことですか？

☆くらもち どういうことですか？

佐藤 ワカンナイかな、私は合コンへと向かうこの長い旅の果てに、（三上に向かって、「あなたを」な、ポーズ）獲得したんですよ。

☆三上 （絶句する）

☆くらもち （絶句する）

音喜多 ばかだ。

佐藤 よろしければ、ケータイの番号とか、教えていただけませ

三上 幸子ちゃん、じゃあね。

音喜多 うん。ありがとう。

三上 元気で。

音喜多 うん。元気で。

三上 （くらもち）お世話をになりました。

くらもち お気をつけて。

佐藤 あの、私は、駅前のいわきホテルに宿取つてたんですが。（につこり）逆方向です。

佐藤 あの、

三上、早足で逃げるように行く。

佐藤 ・・・。

くらもち ま、なんていうか、あれだな。

音喜多 あれだな。

佐藤 ・・・じゃ、そういうわけで。

くらもち どうするの？

佐藤 僕は、必ず立ち直ります。じゃ。

くらもち 気をつけて。

佐藤（力なく手を挙げて応える）

佐藤、退場。残されるくらもちと音喜多。

音喜多 ……じゃ、私も、行くわ。

くらもち え？お父さん迎えに来るんでしょ？

音喜多 そんなこと言つたっけ？

くらもち え？

音喜多 いわきの女によろしく。

くらもち そんなんじやないってば。

音喜多 え？

くらもち あ、うん。じゃ、

音喜多、去る。一人残つたくらもち、携帯電話をかけるが、  
やはり出ない。

くらもち ……やっぱ、駄目か。

と、着信。すかさず出る。

くらもち あ、もしもし、くらもちです。あ、はい。……やつと  
繋がった。大丈夫でしたか？……あー、そうですよね。……え  
え、いま、着きました。いわきです。駅。……いま、どんな状  
態ですか？……まあ、そうですよね。

緊急地震速報があちこちから聞こえる。

くらもち あ、ちょっと待つて。來た來た。いま揺れが収まるよ  
ね？

しばらく無言で揺れるくらもち。次第に揺れが収まる。

くらもち そんなに、大きくなかったです。……えーっ、劇團  
員の方が？……ああ・・・ご心配ですね。……そうですか。

仕方ないです。じゃまた、そのうちつてことで。ま、公演は  
12月ですから、後日改めていろいろつてことで。……ええ。  
とりあえず今日はホテルに。いや、ホテルに行きやなんとな  
るでしょ。はい。わかりました。じゃ。

電話を切る。

くらもち えーっと、くらもちです。これまでご覧頂いたのは、  
だいたい僕があの日、体験した内容です。その後、どうなつた  
のかというと、

と、くらもち、台詞のようではなく、素のまままで、客席に  
語りかけるように、2分くらいで以下の体験を話す。

- ・ ホテルの部屋には入室できず、レストランで毛布にくるまり、  
そこではじめてテレビで津波の映像を観たこと。
- ・ 自家用車を仙台に置いていたので、ふたたび有志を募り、レン  
タカーを乗り継いで仙台まで来たこと。
- ・ 仙台から盛岡まで車に乗つて北上したこと。

メロスが走り出でくる。舞台中央に至るとその場走り。く  
らもちはそれを見ている。

メロス メロス、黒い風のように走りました。犬を蹴とばし、小  
川を飛び越え、少しづつ沈んでゆく太陽の十倍も早く走りまし  
た。急げ、メロス。約束の刻限は夕暮れ。

夜からゆつくりと夕暮れへ。

くらもち 夕暮れ、夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ……夕暮れを  
完全に把握しました……。

夕暮れから、夕闇へ。

くらもち 街灯も消えてる。暗いねえ……信号も消えてる、危ないねえ……家の明かりも、お店の明かりも見えない。ただ、車のヘッドライトだけは光つてて、もちろん対向車もいて、暗闇の中をただひたすら走つてるんだよね。そうすると、なんか、ここどこなんだろうって思つちやうわけだ。車を連ねて、この世ならぬところへ走つてるような、宇宙を走つてるような、海底を走つてるような、そんな気になつたんだ。長い坂道を下りながら、ずっと向こうの丘をのぼるヘッドライトの列が、だんだん短くなつていつて、自分もそこに近づいて行く。丘の向こうに消えていく車は、一体どこに行くんだろうと思ひながらあとをついて行つたんだけど。その丘を越えたのか越えなかつたのか……それがよくわからない。

メロス、だんだん遅れて舞台上からいなくなる。

くらもち……見慣れた街まで戻って来て、ところどころ明かりが点いてた。でも、大体は真っ暗で……近所まで戻って来てもやつぱり真っ暗で……普段の街並みがあんな暗闇に包まれていいのを見たら、少し震えた。車を降りて、何となく、空を見上げた。あんなにきれいで悲しい星空は、初めて見た。

暗闇の中、妻（三上）と子（音喜多）、登場。キヤンプ用のランタンの明かり。

妻 おかえり、お父さん！  
妻 おかえり、あなた！  
子 くらもち おー！無事だつたかー！  
子 うん！無事！  
くらもち 誰もケガしてないか？  
子 誰もケガしてないよ！ お父さんがハゲてるだけ。  
子 メルもげんき！  
くらもち こいつう！

メル（三上）もうれしそう。

49

50

くらもち そーかそーか。(妻に) 心配掛けたな。  
妻 (こくり)  
くらもち 家はどんな感じなの?  
妻 揺れたけど、なにも壊れてない。水道も出る。電気が復旧してないだけ。  
くらもち そうか。  
妻 ばかばかばか!心細かったのよー!  
くらもち ごめんな。  
子 あー、おかあさん泣いてる。  
妻 バカね、泣いてなんかないわよ。・・・泣いてなんか、・・・  
泣いてなんか・・・えーん(と、くらもちに甘える)  
子 ・・・えーん(それを見て負けじとくらもちに甘える)  
くらもち 穰張った、よく穰張ったな、  
妻 ご飯にしますか?あなたの好きなわんこそば作つて待つてた  
の。だつて盛岡だもん。はい、どんどん。  
子 はい、よいしょ。  
妻 はい、どんどん。  
子 はい、よいしょ。  
くらもち ・・・えーっと、とりあえず、ビール飲みたい。  
子 お父さんの好きなベアレンビール買つてあるよ。だつて盛岡  
だもん。  
子 ☆だつて盛岡だもん。  
妻 大丈夫。冷え冷えよ。外に出しておけば凍つちやうくらいよ。  
★子 ☆だつて盛岡だもん。  
妻 くらもち そーかそーか。はつはつはつはつは。  
子 はつはつはつはつは。  
妻 ★妻 じや、娘。  
子 じや、おかあさん。

と、妻と子、速攻でビールの支度。メロスが登場。家中を走りだす。くらもち、それに驚く

が、妻と子には見えていない。

くらもち  
妻 はい、お気に入りのビアマグ、南部鉄器よ。

と、南部鉄器ビアマグを渡す。

子  
おひとつ、どーぞ。

くらもち くはー。  
と、ビールを注ぐ。くらもち、それを飲む。

飲みつつ、くらもち、メロスが気になる。子、くらもちの膝に乗る。

子ねーねー、お父さん、おはなししきかせて。いわきはどうだつ  
きの?

お父さん、疲れてるんだから、明日また来まきく。まきく。

何から話そうかな。だいぶ長いからな。  
かいつまんで、ひとことで言うとどんな感じ?  
うだな、

と、くらもち、メロスを気にしながらビールを一口飲む。

くらもち  
・・・樂しかつたな。

メロス、走っている。

くらもち  
しかたないだろ、本当に、楽しかったんだから。

妻あがた、  
くらもちいや、なんでもない。

くらもち まあ、 そうなんだけど、  
子 ふきんしんつて、 なに?

くらもち それはね、新しいヒーローの変身のかけ声だよ。  
子ほんと?

て、ふきーんしーん

妻 嘘教えないの。まったく、困ったお父さんねえ。

★ 妻子

絵に描いたような一家團欒。くらもち、ビールをもう一口飲む。メロスはまだ走っている。

くらもち  
・・・ずっと走つてたのか?

メロス、無言で走り続ける。

くらもち もう、いいよ。まだだよ。

メロス 間に合う、間に合わぬは問題ではない。私は、なんだかわからない、恐ろしく大きなものの為に走つてゐるのだ。

メロス、走り続ける

くらもち そうか

メロス、走り続ける。ゆっくりと暗転

三

※太宰治「走れメロス」（青空文庫）から一部引用しました。  
(作者の死後五〇年以上経過しているため、著作権は消滅しています)

架空の劇団×渡辺源四郎商店 合同公演

## 「震災タクシー」

作・演出 くらもちひろゆき、畠澤聖悟、工藤千夏

### 【出演】

くらもちひろゆき（架空の劇団）  
佐藤 浄（架空の劇団）  
加藤 隆（マーブル局）  
東海林 浩英（フリー）  
畠澤 聖悟（渡辺源四郎商店）  
三上 晴佳（渡辺源四郎商店）  
音喜多 咲子（渡辺源四郎商店）

### 【上演記録】

2012年9月1日（土）、2日（日）  
アトリエ・グリーンパーク（青森県青森市）

2012年9月8日（土）、9日（日）  
長久手市文化の家 風のホール（愛知県長久手市）  
(第6回長久手地域演劇祭参加)

2012年10月13日（土）、14日（日）  
盛岡劇場タウンホール（岩手県盛岡市）  
(第65回岩手芸術祭参加)

2012年11月9日（金）～11月11日（日）  
こまばアゴラ劇場（東京都目黒区）  
(平成24年度文化庁芸術祭参加)

2012年12月15日（土）～16日（日）  
いわき芸術文化交流館アリオス小劇場（福島県いわき市）